

平成19年度決算概要

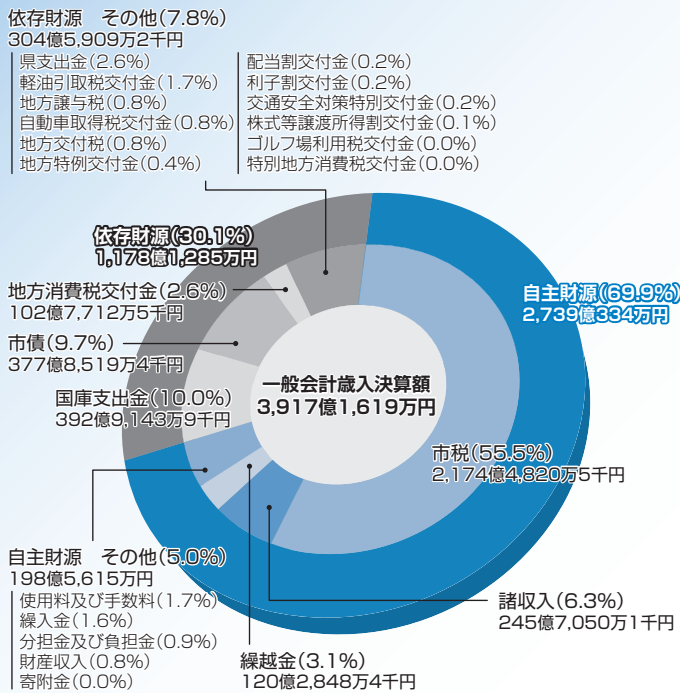
さいたま市の財政

本市では、市民の皆さんに納めていただいた税金などがどのように使われているのかをお知らせするため、年2回財政状況を公表しています。このたび、平成19年度の決算がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

また平成20年度から、財政の早期健全化を目的とし、自治体の財政の健全度を全国一律の基準により算出した比率を公表することになりました。本市の財政状況は、すべての指標に対して健全です。数値など、詳しくは、市ホームページをご覧ください。

一般会計歳入決算の内訳

本市の一般会計歳入決算額は、3,917億1,619万円となりました。内訳は、主となる市税が55.5%を占めており、諸収入などと合わせた自主財源の比率は、69.9%となっています。



市税

市税の合計額は、2,174億4,820万5千円で、市民の皆さんに納めていただいた市税の1人当たりの額は、18万536円でした。市民1人当たりに使われた額は、31万4,987円でした。差額の13万4,451円は、国からの補助金や借入金(市債)などで補いました。

特別会計

本市には、国民健康保険、介護保険、区画整理など、20の特別会計があります。決算額は、歳入が2,388億233万1千円、歳出が2,376億178万1千円でした。

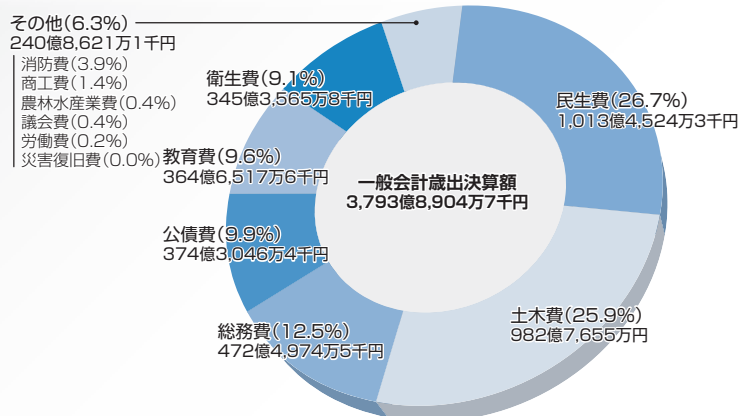
歳出の上位3位は、国民健康保険が946億3,811万2千円、老人保健が652億5,168万8千円、介護保険が445億787万5千円でした。

企業会計

■水道事業会計	収入…400億9,076万6千円 支出…463億8,809万2千円
■病院事業会計	収入…120億3,328万4千円 支出…122億2,928万4千円
■下水道事業会計	収入…434億8,495万9千円 支出…518億286万6千円

一般会計歳出決算の内訳

本市の一般会計歳出の決算額は、3,793億8,904万7千円でした。これを款別に分類すると、民生費が1,013億4,524万3千円で全体の26.7%を占めており、ほかに土木費が982億7,655万円(25.9%)、総務費が472億4,974万5千円(12.5%)、公債費が374億3,046万4千円(9.9%)、教育費が364億6,517万6千円(9.6%)、衛生費が345億3,565万8千円(9.1%)、その他が240億8,621万1千円(6.3%)となっています。



平成19年度の主な事業

- ▶事業PRマガジンの発行事業
- ▶八都県市合同防災訓練の実施事業
- ▶盆栽関連事業等整備事業
- ▶鉄道博物館整備促進事業

- ▶浦和駅東口関連事業
- ▶コールセンター運営事業
- ▶プラザノース整備事業
- ▶窓口申請パッケージ化事業
- ▶大宮公園サッカー場改築事業

- ▶校舎等耐震診断・耐震補強事業
- ▶小学校体育授業サポーター派遣事業
- ▶全国高等学校総合体育大会推進事業
- ▶(仮称)さいたま市民医療センター整備事業

詳しくは、財政課(☎829・1154、FAX829・1997)へ。